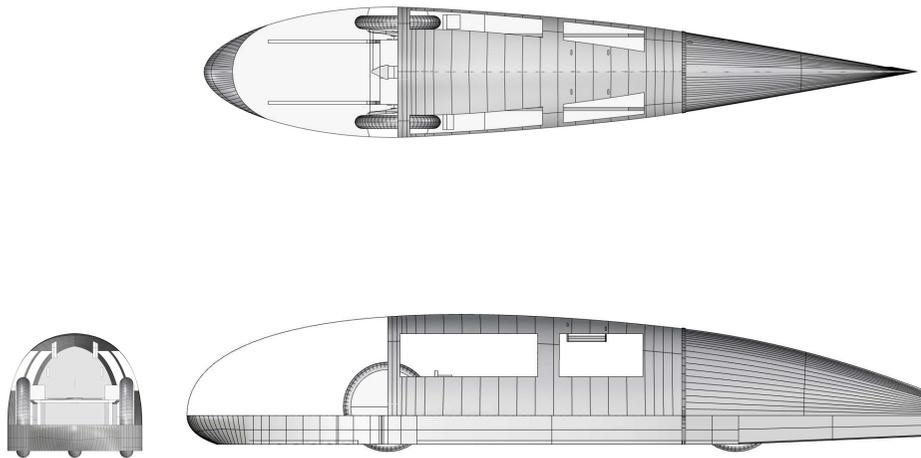


CEDEC-e4



今の時代何に対しても省エネが求められますが、当然車も同様です。将来はガソリン車は駆逐され、より高効率な電気自動車が普及する日が来ると言われています。現に2021年1月の第240回国会の施政方針演説にて、菅義偉首相は2035年までに新車販売で電動車100%を実現することを表明しました。またこの動きは世界でも同様で、EUではハイブリッド車を含むガソリン車など内燃機関車の新車販売について2035年に事実上禁止する方針を打ち出しました。しかしながら電気自動車には航続距離が短い、最高速度が遅い、高コストであるなどの問題が多くあります。乾電池を使用して走る、高効率で高速な一人用電動ビークル、CEDEC-e4はそれらを克服するデザインです。

CEDEC-e4は転がり抵抗を減らすため3輪です。空気抵抗の少ない水滴型とするため前が2輪、後ろが1輪としています。また、シャーシは軽量のためCFRPで作られ、これにより消費電力を小さく抑えます。さらに横幅約60cm、高さ約52cmと断面積を小さくして、車長を約3mと長くとり空気を緩やかに流すことで空気抵抗を最小限にしています。このため運転手はほぼ仰向けのような体勢で運転することとなります。運転手の視界確保のためハンドルの回転軸を鉛直方向として、なるべくハンドルが視界を遮ることがないようにしています。計器類はタイヤと運転手の視点を結んだ直線上に配置し、視界を広くするとともに見えやすいものとししました。

